



セブン&アイ・ホールディングス

会社案内

CORPORATE PROFILE
2021-2022



ごあいさつ

セブン&アイグループは、コンビニエンスストア、スーパーストア、百貨店、専門店、金融サービスなど多様な業態を擁し、毎日の生活の中でお客様に親しまれるブランドとして、世界17の国と地域で店舗を展開しています。現在、社会構造の大きな変化や新型コロナウイルス感染症の拡大などを背景に、お客様の消費行動や生活に対する価値観は大きく変容しています。私たちは社是である「信頼と誠実」のもと、グループのさらなる成長と深化を目指して、2025年度を最終年度とする「中期経営計画2021-2025」を策定しました。この中期経営計画の実践を通じて私たちはグローバルな事業基盤を強化するとともに、商品開発、店舗網、情報・物流システムなどあらゆる面でグループシナジーをよりいっそう高めていきます。そして、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や金融サービスとの連携により新たな体験価値の創造に注力していきます。

また、SDGsなどに示される環境、社会課題への対応が国際社会全体に求められる中で、私たちはサステナビリティへの視点を経営の根幹に据え、新たな流通サービスのあり方を追求しています。2014年にはステークホルダーの皆様との対話に基づき「5つの重点課題」を特定し、2019年にはグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を発信しました。2030年、2050年に向けた具体的な目標値を明示してサプライチェーンのあらゆる面から環境負荷の低減を推進するなど、お客様、お取引先、地域社会、従業員が一体となった取り組みを加速していきます。

これからもセブン&アイグループは、創業時からの社是である「信頼と誠実」のもと、社会とともに持続的な成長を目指してまいります。

代表取締役社長
井阪隆一



Index

- 03 数字で見るセブン&アイグループ
- 05 グループ重点戦略・主な事業会社
- 07 持続可能な社会への取り組み
サステナブルな社会の実現に向けて
環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』
社会貢献活動
- 13 セブンプレミアム
- 15 ラストワンマイルへの対応
- 17 グローバル展開
- 19 沿革
- 21 コーポレートコミュニケーションツール／会社概要

※本冊子掲載画像は、安全に配慮したうえで、撮影時のみマスクを外しています

グループ重点戦略

多様な業態・ブランドを擁するセブン&アイグループならではの特色を活かしながら、
更なる成長と深化を戦略的に目指し、お客様のあらゆるライフステージに新しい価値でお応えします。

CHECK

中期経営計画 2021-2025の
詳細はこちら!



常にお客様の立場に立って、新たな体験価値を提供

新たな「成長領域」への挑戦

次の「便利の扉」を開く

今求められる「食」への挑戦

豊かな「生活拠点」の創出

成長を目指す戦略

深化を目指す戦略

海外コンビニエンスストア
事業戦略

国内コンビニエンスストア
事業戦略

グループ食品戦略

大型商業拠点戦略

ラストワンマイルへの挑戦

顧客基盤

北米1日あたり **650万人**

国内1日あたり **2,240万人**

お客様接点の拡大

DX・金融戦略

コーポレートガバナンスのさらなる強化 / 経営戦略と連動した人財政策

サステナブル経営

セブン&アイグループの主な事業会社

国内コンビニエンスストア事業

(株)セブン-イレブン・ジャパン
(株)セブン-イレブン・沖縄
(株)セブン・ミールサービス
(株)セブンネットショッピング
(株)セブンドリーム・ドットコム

海外コンビニエンスストア事業

7-Eleven, Inc.
SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC.
セブン-イレブン(中国)投資有限公司
セブン-イレブン北京有限公司
セブン-イレブン成都有限公司
セブン-イレブン天津商業有限公司

スーパーストア事業

(株)イトーヨーカ堂
(株)ヨークベニマル
(株)ヨーク
(株)シェルガーデン
(株)サンエー
(株)丸大
(株)ライフフーズ
アイワイフーズ(株)
(株)Peace Deli
(株)ヨーク警備
(株)セブンファーム
イトーヨーカ堂(中国)投資有限公司
成都イトーヨーカ堂有限公司
華糖ヨーカ堂有限公司
(株)ダイイチ※
(株)天満屋ストア※

百貨店・専門店事業

(株)そごう・西武
(株)池袋ショッピングパーク
(株)ごっつお便
(株)赤ちゃん本舗
(株)ロフト
(株)セブン&アイ・フードシステムズ
(株)ニッセンホールディングス
(株)バーニーズ ジャパン
(株)オッシュマンズ・ジャパン
(株)Francfranc※
タワーレコード(株)※

金融関連事業

(株)セブン銀行
(株)セブン・フィナンシャルサービス
(株)セブン・カードサービス
(株)セブンCSカードサービス
(株)バンク・ビジネスファクトリー
(株)セブン・ペイメントサービス
FCTI, Inc.

その他の事業

(株)セブン&アイ・ネットメディア
(株)セブカルチャーネットワーク
(株)セブン&アイ・クリエイトリック
(株)八ヶ岳高原ロッジ
(株)テルベ(特例子会社)
びあ(株)※

※持分法適用関連会社

サステナブルな社会の実現に向けて

社会課題の解決につながる活動を毎日の暮らしの中で一緒に取り組める存在として、お客様とつながり、日々のお買物を通じて持続可能な社会を目指す拠点となるため、グループ各社でサステナビリティ活動を推進しています。

明日にいいこと。 つなげる、つづける。



Why?

なぜ私たちは、暮らしを変えるのでしょうか。



What?

何をすれば、未来にやさしくなれるのでしょうか。



Who?

誰ひとり取り残さない未来は、誰が作るのでしょうか。



When?

いつまで、いつもの今日が続くのでしょうか。

私たちの考え

なぜ私たちは、暮らしを変えるのでしょうか。
何をすれば、未来にやさしくなれるのでしょうか。
誰ひとり取り残さない未来は、誰が作るのでしょうか。
いつまで、いつもの今日が続くのでしょうか。
どうすれば、みんなの力を合わせることができるのでしょうか。

セブン&アイグループは、みなさまと一緒に答えを探しています。
たとえ、ひとりではできないことでも
みんながつなげれば、きっとできることがある。

ひとりのアクションは、小さくても、
みんながつづければ、やがて未来は変わり始める。

毎日の暮らしの中で、みなさまと一緒にできることを。

CHECK
セブン&アイグループのサステナビリティ活動の詳細はこちら！

SDGsの達成につながる セブン&アイグループの 5つの重点課題

セブン&アイグループは、これまで、そしてこれからもさまざまな社会環境の変化に対応し、価値ある商品やサービスを通じて豊かな暮らしの実現に努めます。

1. 高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供



2. 商品や店舗を通じた安全・安心の提供



3. 商品、原材料、エネルギーのムダのない利用



4. 社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援



5. お客様、お取引先を巻き込んだエシカルな社会づくりと資源の持続可能性向上



「SDGs (エスディージーズ)」とは、2015年に国連サミットで採択された、「誰一人取り残さない」という社会を実現するための2030年に向けた持続可能な開発目標の総称です。

資源や環境を守る取り組み 『GREEN CHALLENGE 2050』

GREEN CHALLENGE 2050

私たちの挑戦で、未来を変えよう。



環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』では、4つのテーマで2030年、2050年の目指す姿と具体的な目標を掲げています。豊かな地球環境を未来世代につないでいくため、グループ一丸となって環境負荷の低減に取り組んでいきます。

CHECK

「GREEN CHALLENGE 2050」取り組みの詳細はこちら！



1. CO₂ 排出量削減

LED照明や太陽光発電パネル、省エネ性の高い設備の導入による省エネ・再生可能エネルギー等の活用で、さらなるCO₂排出量の削減に努めていきます。



セブン&アイグループの店舗では、自然エネルギー活用や、省エネ設備の導入を進め、CO₂排出量削減に取り組んでいます。グループ合計で太陽光パネルを8,681店舗※に設置。2019年度は約3万トンのCO₂排出量を削減しています。
※2021年2月末時点



2. プラスチック対策

プラスチックごみによる海の汚染が大きな問題となっています。レジ袋やプラスチック製容器等、一回の使用で捨てられるプラスチックの削減に努めていきます。



セブン&アイグループの店頭に1,001台※1のペットボトル回収機を設置し、年間で約3億3,000万本※2のペットボトルを回収。回収したペットボトルは新しいペットボトルや肌着などに再生されています。
※1 セブン&アイグループ合計(2021年2月末現在)
※2 セブン&アイグループ合計(2020年度実績)



3. 食品ロス・食品リサイクル対策

まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」への関心が高まっています。食品廃棄物の削減・リサイクルをさらに推進していきます。



セブン-イレブンでは、消費期限の近い商品に5%分のnanacoポイントを付与する「エシカルプロジェクト」を全国で実施しています。また、製造工程や衛生管理の見直しによってフレッシュフードの消費期限の延長に取り組んでいます。



4. 持続可能な調達

お客様に安全・安心・便利で環境にも配慮した商品を提供するために、持続可能性が担保された食品原材料の使用を増やしていきます。



イトーヨーカドーでは、「顔が見える食品。」を中心に「MSC認証」「ASC認証」「MEL認証」などの水産エコラベル※を取得した商品の取り扱いを拡大しています。
※ 水産エコラベル：持続可能な方法で行われている漁業や養殖業を認証する仕組み

未来を担う子どもたちを支援する取り組み

世界中の子どもたちが希望に満ちた未来を描けるように。
貧困や病気、感染症に苦しむ子どもたちを支援し、
さらに子育てを応援する取り組みなどを進めています。

セブン&アイ・ホールディングス 子供地球基金との取り組み



セブン&アイグループの店舗では、「子供地球基金」との共同の取り組みで子どもたちの描いた絵がデザインされた商品を販売。売上の一部は、基金を通じて世界の子どもたちのために役立てられています。



セブン&アイオリジナル
子供地球基金
ポケットティッシュ

セブン&アイオリジナル
子供地球基金
アートエコバッグ



そごう・西武 子ども靴下取りサービス



©国際協力NGOジョイセフ



店舗内に設けられた
受け取りカウンター

そごう・西武では、使用しなくなった子ども靴を店頭で下取りし、アフリカのザンビア共和国にお届けしています。裸足の子どもが多いザンビアで感染症などの危険から守るため2009年より取り組みを続けています。

イトーヨーカドー／アカチャンホンポ マタニティ・育児相談サービス



スマイル育児応援！
出産準備マタニティスクール



イトーヨーカドーでは、保健師や助産師の資格を持つ相談員が、妊娠中の健康や、出産・子育ての相談を無料で承る「マタニティ・育児相談室」を店頭で設置。アカチャンホンポでは、両親教室などへ参加できない方に「お家で学べるオンライン講座シリーズ」をWEBで公開しています。

地域生活に密着した社会価値の提供

商品を売るだけでなく、「暮らしに安心を」「街を元気にする」など、
地域社会の生活に欠かせないインフラとして、
さまざまな施策に取り組んでいます。

セブン-イレブン セブンあんしんお届け便



高齢化や単身世帯の増加、小売販売店の減少など社会環境の変化の中で、
毎日のお買物に不便を感じる方のニーズにお応えするために、移動販売車
「セブンあんしんお届け便」「イトーヨーカドー とくし丸」を展開。
お買物の利便性向上だけでなく、地域の見守り活動にも貢献しています。

イトーヨーカドー イトーヨーカドー とくし丸



セブン-イレブン セーフティステーション活動

セブン-イレブンでは女性・子ども・高齢者の保護、
青少年を取り巻く環境の健全化、強盗・万引き・
特殊詐欺被害の防止、災害や事故、急病人への
対応など、安全・安心を見守る地域の拠点として
「セーフティステーション(SS)活動」に取り組んで
います。



セーフティステーションの
店頭ポスター



POSレジスターの画面でも啓発

地域活性化包括連携協定

地産地消の取り組みや観光振興、環境保全、
子育て・高齢者支援などの活動を地域とともに
推進するため、グループ各社で全国の都道府県、
市町村と地域活性化包括連携協定や高齢者等
に関する見守り協定の締結を進めています。



島根県と(株)セブン-イレブン・ジャパン
地域活性化包括連携に関する協定」締結式

自治体との包括連携協定数
セブン-イレブン・ジャパン、
イトーヨーカ堂、
ヨークベニマル、ヨーク、そごう・西武、
セブン&アイ・フードシステムの
6社合計
283件
(2021年2月末現在)

セブンプレミアム コネクト宣言

急速に変化する社会環境に対応した商品を提供し続けるために、セブン&アイグループは「セブンプレミアム コネクト宣言」を定めました。一つひとつの商品に「環境」「健康」「品質」「グローバル」という4つの価値をつなぎ、国内はもとより世界の皆様ともつながる持続可能なブランドを目指します。

もっと環境に配慮した未来へ
地球のための取り組みを、次世代につなぐ

もっと健康的な未来へ
あらゆる人を、すこやかな明日へつなぐ

ENVIRONMENT

日本コカ・コーラ株式会社との共同企画商品「一(はじめ) 緑茶 一日一本」は、グループの店頭で回収したペットボトルを使用した再生PET樹脂を100%用いたリサイクルペットボトルを使用。



HEALTH

健康をテーマにした商品開発や、栄養成分表示に『糖質』と『食物繊維』を記載するなど、健康ニーズに対応。



もっと未来品質へ
専門店のおいしさと品質を、食卓につなぐ

もっとグローバルな未来へ
日本のモノづくりの心を、世界につなぐ

QUALITY

最上級ブランドとして高い品質とおいしさを提供し続ける「セブンプレミアム ゴールド」。



GLOBAL

海外の方もわかりやすいように英語表記を読みやすく拡大し、中身がわかる商品パッケージに。



ブランドラインナップ

セブンプレミアム
進化し続けるブランドとして、「もっとおいしく」「もっとおトクに」をテーマにお客様のニーズにきめ細かく応えます。



セブンプレミアム ゴールド
上質な原料を、こだわりの技術で仕上げました。食卓を豊かにする最上級のブランドです。



セブンプレミアム ライフスタイル
便利で使いやすく、環境にもやさしい、衣料や生活雑貨。充実のラインナップで、お客様の暮らしを支えます。

セブンプレミアム フレッシュ
手間をかけて大事に育てた生産者の想いと、新鮮でおいしい食品を求めるお客様のニーズをつなぎ、安全・安心の生鮮ブランドです。



セブンカフェ
上質な素材とでき立ての香りがうれしいコーヒーや、本格的なスイーツで生活の中につろぎのひと時を。



成長と進化を続ける「セブンプレミアム」

セブンプレミアムは、セブン&アイグループ共通のプライベートブランド商品として2007年に誕生しました。環境や健康への関心の高まりに応え、サステナブルな視点から時代が求める新たな社会的価値を追求しています。



多様化するニーズへの対応と 快適なお買物体験の提供を目指して

働き方の多様化や少子高齢化などにより、お客様の価値観や購買行動が大きく変化しています。セブン&アイグループでは、各社が培ってきた事業インフラと新しいデジタル技術を融合させ、「オンデマンド購入」「計画購入」「対面購入」という3つの施策で、ラストワンマイルへの対応を進めています。

お客様のニーズにお応えする3つのラストワンマイル施策

 <p>オンデマンド購入</p> <p>「セブン-イレブン ネットコンビニ」 そごう・西武の「e.デパチカ」 デニーズの宅配サービス</p>	 <p>計画購入</p> <p>「イトーヨーカドー ネットスーパー」</p>	 <p>対面購入*</p> <p>「イトーヨーカドー とくし丸」 「セブンあんしんお届け便」</p>
--	--	--

※詳しくは12ページをご覧ください

今すぐ欲しいにお応えする

毎日のお買物をもっと便利に

注文から
最短**30分**で
お届け



対象商品
約**3,000**
アイテム



でき立てを
スピーディー
に!

セブン-イレブン ネットコンビニ

「セブン-イレブン ネットコンビニ」は、国内のセブン-イレブン店舗で扱う食品や日用品など約3,000アイテムを対象に、専用サイトでご注文いただけるサービスです。リアルタイムに店舗専用サイト上の在庫を連携させることで、ご注文から最短30分でのお届けを実現しています。時間を有効に使いたいお客様の強い味方として今後も順次拡大予定です。

デニーズの宅配サービスの拡充

デニーズでは、宅配サービスへのニーズの高まりを受けて、宅配専用店舗をオープンしました。宅配調理に集中することで、注文からお届けまでの時間を短縮し、よりスピーディーにでき立ての料理をお届けすることが可能になりました。オリジナルメニューを展開するなど、サービスの拡充に努めています。



事前注文
が可能に!



アプリによる
お買物
時間の短縮

イトーヨーカドー ネットスーパー

イトーヨーカドーでは、WEBサイトや専用アプリから商品をご注文いただくと、ご指定の時間帯に商品をお届けする「ネットスーパー」を展開しています。計画的に短時間でお買物をしたいお客様のご要望を受け、事前注文や購入頻度の高い商品を自動登録できる機能を追加しました。ネットスーパーでは「非接触お届け」サービスを実施しており、「置き配受取り」サービスの拡充も進めています。

ラストワンマイルの取り組みを支えるDX* ラストワンマイル DXプラットフォーム

より円滑に商品をお届けするため、ネットコンビニの配送網をベースにグループ店舗からの配送を一括管理する仕組みを開発。配送リソースと組み合わせながら、車両・ドライバー、配送料、配送ルート、受取場所の4つの最適化を図っていきます。

※DXとは、「デジタルトランスフォーメーション」の略称です

「近くて便利」は世界へ 加速するグローバル展開

セブン&アイグループは、コンビニエンスストアを中心に、世界中の国と地域に事業を展開。世界規模のネットワークとブランド力を活かし、社会の変化に迅速に対応しながらお客様の生活をさらに充実させる新しい価値の提案と質の高いサービスを提供しています。



セブン&アイグループ海外展開の中核 7-Eleven, Inc.

北米でセブン-イレブン店舗を展開する7-Eleven, Inc. は、セブン&アイグループの成長戦略において大きな役割を果たしています。変化するお客様のニーズに対応した商品の拡充や、デジタル戦略によるお客様との接点を拡大するとともに、世界16の国と地域※に店舗を展開。世界のエリアフランチャイジーとともに「7-Eleven」ブランドの価値向上に努めています。

※2020年12月末現在



レストランを併設した店舗

M&Aを通じた 店舗ネットワークの拡大

7-Eleven, Inc. では、積極的な新規出店・既存店舗の活性化に加え、出店戦略に基づいたM&Aの実施により成長性の高い地域への展開を加速させてきました。2021年5月には、米国 Marathon Petroleum Corporationが主に「Speedway」ブランドで運営する株式その他持分を取得。米国で人口の多い上位50都市のうち、47都市で集中出店を行っています。この店舗ネットワークを活かし、フレッシュ・フードをはじめとする商品開発の高度化や、DXによる新たな顧客体験の提供、地域ニーズに合わせてメキシカン料理を提供するレストランを併設した店舗展開の拡大を推進。サプライチェーンの強靱化により、食品を中心としたコンビニエンスストア事業のさらなる成長を目指します。

ESG活動推進による 持続可能な社会の実現へ

海外においても高い関心を集める持続可能な社会への取り組み。7-Eleven, Inc. では、2027年度までに店舗からのCO₂排出量を20%削減するという目標を2019年度に達成し、この目標を2030年度までに50%削減とする大幅な見直しを実施。今後も急速充電EVステーションの設置や、再生可能エネルギーを100%使用した店舗の拡大など、ESG活動を推進していきます。

(目標数値はいずれも2013年比)



EV充電設備の設置目標の見直し

時期	台数
2027年度 ↓5年前倒し	250店舗
2022年度	250店舗 500台以上

再生可能エネルギーへの取り組み

太陽光発電	約350店	→ 2030年に向けて 他地域へも拡大 RE100※対応店舗数
風力発電	約870店	
水力発電	約150店	
合計	約1,370店	5,000店舗

※「RE100」とは、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーにすることを旨とする国際的イニシアチブです。セブン&アイ・ホールディングスは2020年12月より参画しています

ロイヤリティ向上に向けた デジタル戦略

「7Rewards」は会員数が5,200万人を超える、スマートフォンアプリを活用したロイヤリティプログラムです。2020年、「7-Eleven Wallet(デジタルウォレット)」の機能を新たに追加し、簡単に支払いができるようになりました。さらに、「モバイル・チェックアウト(セルフレジ)」を拡大するなど、最新のデジタル技術を駆使した購物体験を提供し、DX分野でも業界を牽引しています。また、いつでもどこでも便利なサービスを求める声が高まる中、デリバリーサービス「7NOW」を展開しています。「お客様にとって身近な店舗インフラ」という強みを活かしつつ、注文からお届けまで、業界最速の30分を実現。今後もさらにサービスエリアを拡大し、お客様の生活をサポートしていきます。



クーポンなども人気の「7Rewards」



品揃えを拡大している「7-Select」

差別化商品への取り組み

プライベートブランド商品「7-Select」は高品質でお手頃な新しい「飲食の体験」をお客様に提供しています。2004年に展開を開始し、味・素材・品質にこだわり、環境にも配慮した商品はお客様にも好評で、菓子・雑貨・飲料などの品揃えを拡大するとともに売上も大きく改善しています。また、急速に変化するお客様のライフスタイルに合わせ、フレッシュ・フードの拡充にも注力。日本でセブン-イレブンの専用工場を展開しているデリーメーカーと連携し、商品開発プロセスの見直しも進めています。

セブン&アイグループ「変革と挑戦の歴史」

お客様のより良い暮らしを実現するために

吉川敏雄(伊藤雅俊名誉会長叔父)が台東区浅草に洋品店「羊華堂」(開店当初の店名「めうがや」)を開業

(株)ヨーカ堂設立(現(株)イトーヨーカ堂)

福島県のスーパーマーケット、紅丸商事(現(株)ヨークベニマル)と業務提携
(株)デニーズジャパン設立
(株)ヨークセブン設立(現(株)セブン-イレブン・ジャパン)

(株)ヨークマート設立(現(株)ヨーク)



米国サウスランド社(現 7-Eleven, Inc.)発行株式の69.98%取得

セブン-イレブンみどりの基金(現 一般財団法人セブン-イレブン記念財団)設立

特例子会社(株)テルベ設立

中国四川省成都市に成都イトーヨーカ堂有限公司設立

中国に合弁会社、華糖ヨーカ堂有限公司設立

(株)セブンドリーム・ドットコム設立

(株)アイワイバンク銀行設立(現(株)セブン銀行)
(株)アイワイ・カード・サービス(現(株)セブン・カードサービス)設立



セブン-イレブン北京有限公司設立

(株)モール・エスシー開発(現(株)セブン&アイ・クリエイトリック)設立
持株会社(株)セブン&アイ・ホールディングス設立
(株)セブン-イレブン・ジャパン、米国7-Eleven, Inc.を完全子会社化

(株)ミレニアムリテイリング(現(株)そごう・西武)を完全子会社化
(株)ヨークベニマルを完全子会社化

(株)セブン&アイ・フードシステムズ設立
(株)ミレニアムリテイリングが(株)ロフトを子会社化
(株)イトーヨーカ堂が(株)赤ちゃん本舗を子会社化

(株)セブン&アイ・フィナンシャル・グループ設立(現(株)セブン・フィナンシャル
サービス)

(株)セブン&アイ・ネットメディア設立
農業法人(株)セブンファーム富里設立

1920

1958

1973

1975

1982

1987

1991

1993

1994

1996

1997

2000

2001

2004

2005

2006

2007

2008



●セブン-イレブン・ジャパン、24時間営業を開始

●イトーヨーカ堂に業務改革委員会発足
●セブン-イレブン・ジャパン、
世界最大規模のPOSシステム導入開始

●セブン-イレブン・ジャパン、
公共料金収納代行サービスを開始



●お食事配達サービス「セブンミール」開始

●原則24時間365日利用可能な
アイワイバンク銀行ATMの設置スタート
●セブン-イレブン・ジャパン、チェーン全店売上が
国内小売業トップに
●セブン-イレブン、フレッシュフードにて
「保存料・合成着色料※を使用しない」商品を販売
(※着色料のうち指定添加物)
●イトーヨーカドー、大手スーパーでは
初の試みとなる女性店長の誕生



●独自の電子マネー「nanaco(ナナコ)」導入開始
●グループ共通のプライベートブランド商品
「セブンプレミアム」発売開始



(株)セブンカルチャーネットワーク設立
びあ(株)と業務・資本提携

タワーレコード(株)に資本参加
(株)セブンファーム設立
セブン-イレブン成都有限公司設立



北海道の食品スーパー(株)ダイイチと業務・資本提携
(株)ニッセンホールディングスと業務・資本提携
(株)イトーヨーカ堂が(株)天満屋ストアと資本提携、
(株)セブン&アイ・ホールディングスが(株)天満屋ストア
および(株)天満屋と業務提携
(株)パルス(現(株)Francfranc)と業務・資本提携

(株)バーニーズ ジャパンを完全子会社化
関西地域の食品スーパー(株)万代と業務提携

(株)ニッセンホールディングスを完全子会社化

(株)セブン-イレブン・沖縄設立



(株)セブン・ペイメントサービス設立
7-Eleven, Inc.がSunoco LP社の小売事業を取得
小田急電鉄(株)、小田急商事(株)と業務提携
(株)イトーヨーカ堂が(株)イズミと業務提携
(株)増進会ホールディングスと業務提携

(株)ヨーク設立



2009

2010

2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

●セブン-イレブンでマルチコピー機による
「住民票の写し」「印鑑登録証明書」発行の
行政サービス開始

●セブン-イレブン・ジャパンで超小型電気自動車
による「セブンらくらくお届け便」開始



●「SEVEN CAFÉ(セブンカフェ)」の販売スタート

●営業利益が国内小売業初の3,000億円突破
●セブン銀行ATM設置台数が20,000台突破
●コンビニエンスストア業界初の免税サービス開始

●グループの総合ECサイト「omni7」グランドオープン

●「セブンプレミアム」の発売から10周年。
生鮮食品や日用品・衣料品にも品揃えを拡大し、
5つのブランドに再編



●国内セブン-イレブンの店舗数が20,000店を突破



●環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を策定
●セブン-イレブンが全世界で70,000店舗を突破

●イトーヨーカ堂、100周年
●「セブンプレミアム コネクト宣言」を発信

●7-Eleven, Inc.が
米国Marathon Petroleum Corporationの主に
「Speedway」ブランドで運営される
コンビニエンスストア事業と燃料小売事業を取得

コーポレートコミュニケーションツール

セブン&アイHLDGS.

WEBサイト



セブン&アイグループの活動をもっと詳しく知りたい方はこちら。最新のニュースや、沿革などの会社情報に加え、グループで取り組むサステナビリティ活動などの情報を掲載しています。



セブン&アイHLDGS. ホームページ
<https://www.7andi.com/>

経営レポート(統合報告書)



セブン&アイHLDGS.の経営方針や、中長期の企業価値向上に向けた取り組みおよびコーポレートガバナンスをまとめたレポート。グループ各社の事業戦略も掲載しています。



セブン&アイ経営レポート
<https://www.7andi.com/ir/library/mr.html>

コーポレートアウトライン

セブン&アイグループおよびグループ各社の事業活動と営業情報をまとめた年刊誌。国内・グローバルにおける店舗展開や営業情報、物流・生産システムなどのデータを掲載しています。



コーポレートアウトライン
<https://www.7andi.com/ir/library/co/2021.html>

最新のIR資料

セブン&アイHLDGS.の最新のIR資料をまとめてご覧いただけます。有価証券報告書、決算短信および決算補足資料などの決算情報を掲載しています。



IR資料室
<https://www.7andi.com/ir/library.html>

各事業会社の採用情報

グループの一員として働くことに興味をお持ちの方へ。各事業会社の仕事の紹介と、採用情報を掲載しています。



採用情報
<https://www.7andi.com/recruit.html>

株主通信『四季報』



セブン&アイグループ各社の最新の取り組みを紹介する株主通信。3か月ごとに株主の皆様にお届けしており、毎号さまざまなテーマの特集を掲載しています。



四季報
<https://www.7andi.com/group/quarterly/>

セブン-イレブン・ジャパン

セブン-イレブンの横顔

セブン-イレブンの加盟店オーナー様に向けた会社案内。経営を支援する仕組みや取り組みを掲載しています。



セブン-イレブンの横顔
<https://www.sej.co.jp/company/yokogao.html>

セブン銀行

統合報告書ディスクロージャー誌

セブン銀行の事業概況や財務情報、持続的成長を支える非財務情報を包括的に掲載しています。



統合報告書ディスクロージャー誌
<https://www.sevenbank.co.jp/ir/library/disclosure/>

会社概要

設立	2005年9月1日	連結従業員数	135,332名※1 (2021年2月末現在)
資本金	500億円	本部所在地	東京都千代田区二番町8番地8
事業内容	コンビニエンスストア、総合スーパー、食品スーパー、百貨店、専門店、フードサービス、金融サービス、IT/サービスなど、各事業を中心とした企業グループの企画・管理・運営(純粋持株会社)	2021年2月期連結決算業績	グループ売上 11兆448億円※2 営業収益 5兆7,667億円 営業利益 3,663億円 経常利益 3,573億円 親会社株主に帰属する当期純利益 1,792億円 (為替換算レート: U.S.\$1=106.76円)

※1 パートタイマー(月間163時間換算の月平均人員)を含む
 ※2 「グループ売上」は、セブン-イレブン・ジャパン、セブン-イレブン・沖縄および7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値

役員一覧

(2021年6月末現在)

取締役・監査役	代表取締役社長	井阪 隆一	取締役	永松 文彦	常勤監査役	幅野 則幸
	代表取締役副社長	後藤 克弘	取締役	木村 成樹	常勤監査役	谷口 義武
	取締役常務執行役員	伊藤 順朗	取締役	ジョセフ・マイケル・デビント	監査役	原 一浩*
	取締役執行役員	山口 公義	取締役	月尾 嘉男*	監査役	稲益 みつこ*
	取締役執行役員	丸山 好道	取締役	伊藤 邦雄*	監査役	松橋 香里*
			取締役	米村 敏朗*		
			取締役	東 哲郎*		
			取締役	ルディー 和子*		
						*印は社外取締役または社外監査役
執行役員	常務執行役員	三枝 富博	執行役員	米谷 修	執行役員	中村 英和
	常務執行役員	林 拓二	執行役員	齋藤 正記	執行役員	松本 稔
	常務執行役員	真船 幸夫	執行役員	宮地 信幸	執行役員	釣流 まゆみ
	常務執行役員	石橋 誠一郎	執行役員	手島 伸知		
			執行役員	石井 信也		

組織図

(2021年9月2日現在)

